

行政調査報告書

- ・衆院第二議員会館
- ・明治記念館「富士の間」

令和4年11月15日（火）

大阪維新の会大阪府議会議員団

◇視察の目的

大阪府では、2025年大阪・関西万博の開催に向けて準備を進めている。開催まで残り1,000日を切った今、現状の課題や今後の取組みについて改めて考えるため、国の最新動向の説明を聴取した。併せて、2023年に大阪・堺で開催されるG7貿易大臣会合の準備を進めるため、これまでの開催状況等の説明を聴取した。

また、北陸新幹線の早期全線整備を求めるため、大阪府を含む沿線都道府県で構成する「北陸新幹線建設促進同盟会」による建設促進大会への参加を行った。

◇視察期間

令和4年11月15日（火）～令和4年11月16日（水）

◇視察参加者

和田賢治、金城克典、笹川 理、西林克敏、中川あきひと、山本真吾、三橋弘幸、
西元宗一、魚森ゴータロー

計9名

◇視察先

≪11月15日（火）≫

○衆院第二議員会館 第10会議室

◇視察日程

○11月15日（火）

「大阪・関西万博及びG7貿易大臣会合について説明聴取」

13:40 衆院第二議員会館 第10会議室 （現地集合）

14:00 説明・質疑応答

｝ ①大阪・関西万博の最新の動向

②2023年G7貿易大臣会合について

15:15 終了

○11月16日（水）

「北陸新幹線建設促進大会」

10:30 明治記念館「富士の間」

｝

◇視察の内容

○「大阪・関西万博及びG7貿易大臣会合について説明聴取」

【①大阪・関西万博の最新の動向】

説明者：内閣官房 国際博覧会推進本部事務局 重力参事官補佐

経産省 商務・サービスグループ 博覧会推進室 渡辺総括補佐

内容：大阪・関西万博のパビリオン等の現状や各国への参加招請活動、アクションプランの改正等について、別添資料により説明。

質疑応答

魚森議員）26 頁の営業参加について、「ロゴマークやキャラクターを活用したライセンスビジネスの実施」とあるが、ライセンスの規制が厳しいと聞いており、そのような状態ではなかなか浸透していかないのではと思うが、政府の考えは如何。

渡辺補）各種商品について、夏の段階では無償でやっている。今、ミyakミyakの規定を緊急に整備しているところ。規定が整備されれば、使用ルールが公表される。今、協会より最後の詰めを行っていると言っている。公表されれば、売上の何割かを収めてもらうことになるが、基本的に愛知万博のモリゾー、キッコロと同じようにできればと考えている。本当に喫緊で準備している。

魚森議員）28 頁の建材リユースについて、ウッドショックが始まり、木材確保の状況は如何。

渡辺補）大屋根リングの部分について、藤本プロデューサーと色々と議論しており、足元の資材価格としては、鉄骨も含め全体として上がり基調。1,250 億円から 1,850 億円の増額したタイミングで、“足元の”と我々は呼んでいるが、物価上昇は比較的織り込んでいるところ。松井市長、吉村知事、岡田大臣も現時点では上振れる見込みないが注視していくと答弁している。今後の動きによって話が変わってくる可能性もあるが、現時点では把握していた範囲で動いている。

中川議員）18 頁のモビリティの件、規制緩和を推進とあるが、現状と今後について如何。

渡辺補）空飛ぶクルマと自動走行に分けて。自動走行では、国交省と経産省と連携し、自動走行ロボットの歩道走行について法改正を行う。来年4月1日施行に向けて準備中。現時点では、歩行者として位置づけられていない。細かなルール整備、ガイドライン作成等を進めているところ。

空飛ぶクルマでは、航空法の規制とドローンの規制の間の中で、人を乗せたドローンとして国交省、経産省で議論しているところ。2025 年に飛べるように、委員会を作り、議論を進めている。

中川議員) 新大阪から咲洲まで飛ばすという報道もあったが、現実味は如何。

渡辺補) 万博で飛ばすということと、国産で開発するという二つのプロジェクトがある。

開発は、スカイドライブをはじめ、経産省でG I 基金を活用しながら支援している。目下、開発中で、今、人を乗せて飛べる状況にはないというのが正直なところ。国産以外では、ドイツ、アメリカ等あるが、どう万博で運行していくかを内閣官房、国交省、経産省、府、市で 10 月から議論を始めたところ。運航事業者も入れて具体的にどこからどこまで飛ばすかを考えている。発着場を市のどこに置くかがクリティカルに影響する。

山本議員) 参加表明国に台湾が位置付けられていない。府議会でも政府に委ねると答弁あったが、政府の考え如何。

重力補) 台湾には参加招請を行っていない。外交ルートを通じて、国交があるところに招請を行っている。台湾が国というかたちで万博に参加することはないと考えている。

山本議員) ミラノ、上海万博では、民間団体として参加している。また、70 年大阪万博では中華民国として参加しているが、地域といったかたちでも招請はしないのか。

重力補) 招請はしない。

西林議員) 26、27 頁の TEAM EXPO について、やぶさめとか和太鼓とか記載されているが、こういった方々が万博の催事場等でこういった催しを披露する機会はあるのか。

重力補) TEAM EXPO の取組の中で、良いものを会場内で披露するベストプラクティスというコンセプトはある。ただ、文化イベントについては、それなりに場所が必要。今、協会で催事の計画を作っている。どういうところでどんなイベントをするのか、順次、はめ込んでいくことになる予定。

西林議員) TEAM EXPO に参加していなくても、万博に参加できる可能性はあるのか。

重力補) 参加できる可能性はある。別の議論になる。

西林議員) 2 頁、「前売り入場券販売開始」とあるが、ファストパスとか 1 時間早く入れるとか、金銭的負担をすると優遇されるような検討は行っているか。

渡辺補) 色々と検討を進めているが、パビリオンの予約を個別にできるようにするのか等、システムの都合でどこまで仕上げていけるかという議論をしている。デジタルの力を活用し、なるべく混雑のない万博をという基本方針は決まっている。

中川議員) 魚森議員からも質問あったが、本当に木材確保できるのか。輸入木材にも頼るのか。

渡辺補) 国産と海外をミックスする予定。その割合は実施設計によるところ。元々、木材と鉄骨で作る予定であったところを木材のみとしたことで価格が上がったわけではなく、鉄骨も価格は高騰している。設計変更した際には、設計事務所から十分できるということで木材でという判断になった。ウッドショッ

クが議論になっていた時期に、国産と海外をミックスし、方々にも確認し、大丈夫だろうと。木材でパピリオンの公募を行ったが、全て予定価格内で落札された。ゼネコンもできるという判断なのでは。今後、詳細設計や状況変更等、また、工事契約も年単位であるので、状況見ながら判断していく必要はあると考えている。

笹川議員）会場建設やアクセルの状況、国としてはどうみているか。順調か、遅れを懸念しているか。府市に対して国から望んでいること等あるか。

渡辺補）3大工区は先般、無事に予定価格内で一発で落札できたところ。山場は超えた。一部、テーマ館等で2回目の公募を行っているが、大型のところは順調に進んでいる。工事のアクセスルートと、開催中のアクセスルートとあるが、府市にお願いしていたところ。咲洲大橋、夢舞大橋について、拡幅工事等の目途が立ったと聞いている。コンテナヤードの調整も尽力いただいていると聞いている。着実に対応いただいているところ。

金城議員）大阪府議会でも質問したが、国際イベントになるので、東京オリパラでもそうであったが、風疹、麻疹、A型肝炎、髄膜炎等、コロナワクチンだけでなく、色々な対策が必要。府議会では協会が指針を示す旨の答弁であったが、現状は如何。

重力補）詳細は分かりかねるが、そのような意見があることは承知。感染症対策を検討する会議体が協会に設置されている。コロナだけでなく、髄膜炎等、海外の感染症が日本に持ち込まれるリスクについて議論されていると聞いている。実際にどこまで対策を講じるかは議論中。議論する場は用意されており、内閣官房でも感染症に限らず、テロ・サイバーセキュリティ等、政府分科会を設置し、検討している。協会の動きと併せてウォッチしていきたい。

金城議員）オリパラのときは一定の入場制限等あった。早めに検討を進めてほしい。

【②2023年G7貿易大臣会合について】

説明者：経産省 通商政策局 藤田国際経済課長

外務省 山川国際貿易課長代理

内容：G7の過去実績等を別添資料により説明。

質疑応答

三橋議員）堺市で行われるとのことであるが、滞在期間や規模はどれぐらいか。

藤田課）閣僚会合は通常2日間程度。大阪日程の検討はこれからであるが2日間程度見込み。事務方は数日前から入る。本日、G7全体のセキュリティ会合があった。今後、様々な分科会を作り議論する。

金城議員）各地方で警備の主体はどこか。

藤田課）警察庁と地元の警察が連携。

金城議員）トップは警察庁なのか。

山川代）主体は今回、大阪府警になるだろうという話をしている。

西林議員）貿易大臣会合の規模は如何。G20 のようにホテル1 棟貸切とかはあるのか。

藤田課）国によって異なる。閣僚と事務方含め、各国多くて 20 人ぐらいか。

山川代）過去例をみると、比較的、身軽で来られることが多い。大使館の支援もあるので、見通すのが難しいが、何十人も来る感じではない。

○「北陸新幹線建設促進大会」

北陸新幹線について、金沢・敦賀間の整備を着実に進めるとともに、敦賀・大阪間を一気に整備し、全線整備が一日も早く実現されるよう要請内容を審議し、同内容を決議した。

当日の主な内容：会長挨拶、来賓挨拶、決議

（別添資料を参照）

以 上